

ていねいな暮らしのあつたころ

佐野二彦の撮った伊深の里山



「布団に綿を入れる」(昭和39年3月撮影)

「布団づくり」

布団は、家族以外にも来客用をそろえておくのが常でした。

右の写真は、布団の綿入れをしている様子です。綿ぼこりが舞う中で行う綿入れは一日がかりの大仕事でした。

最初に、家で布団の側(綿を入れる布をはがして洗い、それから綿打ち屋で古い綿を打ち直して



「布団を干す」(昭和44年3月末撮影)

もらいます。再び家で、布団の側に、真綿(くず繭)の綿を敷き、綿を縦横に重ね合わせていき、さらに真綿を重ねました。最後にひっくり返しておいた側を元に戻します。

左の写真は、瓦屋根に布団を干している様子です。掛け布団の「鏡」の布の色がひとときわよく映えています。はしごが掛けてあり、布団を抱えて登って干したことが分かります。

※「ていねいな暮らしのあつたころ」の冊子ができました。一冊200円。文化の森にて好評発売中です